

国語教育におけるICT、主にデジタル教科書を活用した効果的な授業モデルの構築

背景

ICT教育の推進が求められている中で、デジタル教科書の役割は看過できない。しかしながら、デジタル教科書の利用開始は、近年ようやく取り組まれてきたのが実情である。そのため、デジタル教科書がもたらす教育効果については、試行錯誤が繰り返されているのが現状である。

研究

成果

(予定)

- ・北海道教育大学旭川校国語国文学会の機関誌『旭川国文』
- ・北海道教育大学語学文学会の機関誌『語学文学』
- ・本学紀要に成果を発表予定

研究 目的

デジタル教科書の効果的な活用を目指し、印刷物利用との比較観点から研究を遂行する。

研究 課題

- A デジタル端末と紙という媒体の違いがもたらす読解の差異（黒川ほか2022）の再現性を検証する。
- B 同じ内容の授業をデジタル教科書と紙媒体の教科書で実施した場合の学習効果を横断的に比較調査する。調査では授業後に読解力を調べる学力テストと学習の動機付けを調べる質問紙調査を行う。
- C AとBの調査結果から、デジタル教科書を活用した効果的な授業モデルを構築する。

研究 計画

令和4, 5年度 チーム結成、附属小・中学校に分かれて実践実施
令和6, 7年度 附属小中学校間の研究成果の交流・今後の研究方針の再検討
令和8, 9年度 これまでの研究成果の発表・まとめ・HPなどを利用した発信

研究 実施 体制

北海道教育大学旭川校 大橋賢一教授 渥美伸彦准教授 長谷川範彰准教授 西内沙恵講師
附属旭川小学校 福西晟歩教諭 小玉光朗教諭
附属旭川中学校 嶋田善行教諭 永井悦美教諭 鈴木瞬教諭
旭川藤星高等学校 佐々木千紘教諭